

英語英文学科専門科目（平成27年度入学生用）

	科目 コード	授業 コード	科目名	単位	時数	学年	開講	担当教員	教職 必修	概要	開放
英語共通基礎科目（英語コミュニケーション）			基礎英語表現Ⅰ ” ” ”	②	30	1	前期	北山 長貴 阿部 隆夫 横山 利夫 小林 亜希		(英会話と作文) プレイスマン ト・テストによ りクラス分け	
			基礎英語表現Ⅱ ” ” ”	②	30	1	後期	阿部 隆夫 横山 利夫 松井 真人 渡部真由美			
	20030	20031	発展英語表現Ⅰ	2	30	2	前期	マニ・タワ ^ア アコリ			
	20030	20032	”								
	20030	20033	”								
	20040	20041	発展英語表現Ⅱ	2	30	2	後期	マニ・タワ ^ア アコリ			
	20040	20042	”								
			英会話Ⅰ（火曜Ⅰ限） ”（火曜Ⅳ限） ”（木曜Ⅴ限）	②	30	1	前期	マニ・タワ ^ア アコリ		3クラス	
			英会話Ⅱ（月曜Ⅲ限） ”（火曜Ⅳ限） ”（木曜Ⅳ限）	②	30	1	後期	マニ・タワ ^ア アコリ		3クラス	
	20210		リーディングⅠ	2	30	1・2	前期	渡邊真由美			
	20220		リーディングⅡ	2	30	1・2	前期	太田 裕子			
	20230		リーディングⅢ	2	30	1・2	後期	金子 淳			
	20240		リーディングⅣ	2	30	1・2	後期	松井 真人			
	20320		ライティングⅠ ライティングⅡ	2 2	30 30	1 2	前期 後期	米野 裕子 米野 裕子			
	20420		リスニングⅠ リスニングⅡ	2 2	30 30	1 2	前期 後期	北山 長貴 横山 利夫			
	20460		TOEFLリスニング TOEICリスニング	2 2	30 30	1 2	後期 前期	阿部 隆夫 松井 真人			
20510		英文法Ⅰ	2	30	1・2	前期	松井 真人				
20520		英文法Ⅱ	2	30	1・2	後期	阿部 隆夫				
20610		時事英語	2	30	1・2	前期	渡邊真由美				
英米文学科目	20710		イギリス文学史	2	30	1・2	後期	小林 亜希	②	9月開講	教養 教養 教養 教養 外国
	20720		アメリカ文学史	2	30	1・2	前期	渡邊真由美			
	20730		イギリス文学作品研究	2	30	1・2	前期	小林 亜希			
	20740		アメリカ文学作品研究	2	30	1・2	後期	渡邊真由美			
	20750		英米児童文学作品研究	2	30	1・2	集中	井辻 朱美			
	20760		英米文学講読	2	30	1・2	後期	小林 亜希			
			英米文学基礎演習Ⅰ 英米文学基礎演習Ⅱ	2 2	30 30	1 1	後期 後期	小林 亜希 渡部真由美			
20910		英米文学演習Ⅰ	4	60	2	通年	小林 亜希	A:「英米文学基 礎演習」または「 英語学基礎演 習」から必ず1 つ選択して履修 (1年後期) B:「英米文学演 習」または「英語 学演習」から必 ず1つ選択して 履修(2年通 年)			
20920		英米文学演習Ⅱ	4	60	2	通年	渡邊真由美				
		英語学基礎演習Ⅰ 英語学基礎演習Ⅱ 英語学基礎演習Ⅲ 英語学基礎演習Ⅳ	2 2 2 2	30 30 30 30	1 1 1 1	後期 後期 後期 後期	横山 利夫 松井 真人 北山 長貴 阿部 隆夫				
英語学科目	21110		英語学演習Ⅰ	4	60	2	通年	横山 利夫	②		教養 教養 教養
	21120		英語学演習Ⅱ	4	60	2	通年	松井 真人			
	21130		英語学演習Ⅲ	4	60	2	通年	北山 長貴			
	21140		英語学演習Ⅳ	4	60	2	通年	阿部 隆夫			
	21210		英語学入門Ⅰ	2	30	1・2	前期	松井 真人			
	21220		英語学入門Ⅱ	2	30	1・2	後期	横山 利夫			
	21230		英語学入門Ⅲ	2	30	1・2	後期	北山 長貴			
21240		英語学講読	2	30	2	前期	北山 長貴				
言語と文化科目	21330		西洋史	2	30	1・2	前期	浅野 啓子	②	[日]「外国史2」で読替	教養 教養 教養 教養
	21340		日本文化論	2	30	1・2	後期	佐藤 健治			
	21320		英米文化論 異文化理解Ⅰ	2 2	30 30	1 1	前期 後期	小林 亜希 阿部 隆夫			
	21360		異文化理解Ⅱ	2	30	1・2	前期	マニ・タワ ^ア アコリ			
	21370		異文化コミュニケーション	2	30	1・2	前期	阿部 隆夫			
	21410		卒業研究	4		2					

(注) ○数字は必修単位、)○数字は選択必修単位

「授業コード」がある場合、同じ科目名の授業の中から1つのみ選択できる

教職科目については、必修科目・選択必修科目を履修し、かつ教職必修欄の科目を履修することで条件を満たす

英語英文学科専門科目（平成28年度入学生用）

	科目コード	授業コード	科目名	単位	時数	学年	開講	担当教員	教職必修	概要	開放	
英語共通基礎科目（英語コミュニケーション）	20010	20011	基礎英語表現Ⅰ	②	30	1	前期	北山 長貴 阿部 隆夫 横山 利夫 小林 亜希		(英会話と作文) プレイスメント・テストによりクラス分け		
	20010	20012	〃									
	20010	20013	〃									
	20010	20014	〃									
	20020	20021	基礎英語表現Ⅱ	②	30	1	後期	阿部 隆夫 横山 利夫 松井 真人 渡邊真由美				
	20020	20022	〃									
	20020	20023	〃									
	20020	20024	〃									
			発展英語表現Ⅰ	2	30	2	前期	マーニ・タウ・アコリ				
			〃									
			発展英語表現Ⅱ	2	30	2	後期	マーニ・タウ・アコリ				
			〃									
	20110	20111	英会話Ⅰ（火曜Ⅰ限）	②	30	1	前期	マーニ・タウ・アコリ				3クラス
	20110	20112	〃（火曜Ⅳ限）									
	20110	20113	〃（木曜Ⅴ限）									
	20120	20121	英会話Ⅱ（月曜Ⅲ限）	②	30	1	後期	マーニ・タウ・アコリ				3クラス
	20120	20122	〃（火曜Ⅳ限）									
	20120	20123	〃（木曜Ⅳ限）									
	20210		リーディングⅠ	2	30	1・2	前期	渡邊真由美				
	20220		リーディングⅡ									
20230		リーディングⅢ										
20240		リーディングⅣ										
20310		ライティングⅠ	2	30	1	前期	米野 裕子					
		ライティングⅡ										
20410		リスニングⅠ	2	30	1	前期	北山 長貴					
		リスニングⅡ										
20450		TOEFLリスニング	2	30	1	後期	阿部 隆夫					
		TOEICリスニング										
20510		英文法Ⅰ	2	30	1・2	前期	松井 真人					
20520		英文法Ⅱ										
20610		時事英語	2	30	1・2	前期	渡邊真由美		外国			
英米文学科目	20710		イギリス文学史	2	30	1・2	後期	小林 亜希	○	9月開講	教養 教養 教養 教養 外国	
	20720		アメリカ文学史									
	20730		イギリス文学作品研究									
	20740		アメリカ文学作品研究									
	20750		英米児童文学作品研究									
	20760		英米文学講読									
	20810		英米文学基礎演習Ⅰ	A	30	1	後期	小林 亜希				
	20820		英米文学基礎演習Ⅱ	②	30	1	後期	渡邊真由美				
		英米文学演習Ⅰ	4	60	2	通年	小林 亜希					
		英米文学演習Ⅱ	4	60	2	通年	渡邊真由美					
英語学科目	21010		英語学基礎演習Ⅰ	2	30	1	後期	横山 利夫	②	A:「英米文学基礎演習」または「英語学基礎演習」から必ず1つ選択して履修（1年後期） B:「英米文学演習」または「英語学演習」から必ず1つ選択して履修（2年通年）		
	21020		英語学基礎演習Ⅱ									
	21030		英語学基礎演習Ⅲ									
	21040		英語学基礎演習Ⅳ									
			英語学演習Ⅰ	4	60	2	通年	横山 利夫				
			英語学演習Ⅱ									
			英語学演習Ⅲ									
			英語学演習Ⅳ									
21210		英語学入門Ⅰ	2	30	1・2	前期	松井 真人					
21220		英語学入門Ⅱ										
21230		英語学入門Ⅲ										
		英語学講読	2	30	2	前期	北山 長貴					
言語と文化科目	21330		西洋史	2	30	1・2	前期	浅野 啓子	②	[日]「外国史2」で読替	教養 教養 教養 教養 教養	
	21340		日本文化論									
	21320		英米文化論									
	21350		異文化理解Ⅰ									
	21360		異文化理解Ⅱ									
	21370		異文化コミュニケーション									
		卒業研究	4		2							

(注) ○数字は必修単位、)○数字は選択必修単位

「授業コード」がある場合、同じ科目名の授業の中から1つのみ選択できる

教職科目については、必修科目・選択必修科目を履修し、かつ教職必修欄の科目を履修することで条件を満たす

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放																
20010	20011	基礎英語表現 I	2	北山 長貴	前期																	
<p>【達成目標】 1. 基本的な英文法の復習と読解練習をします。 2. コロケーション（語と語の組み合わせ）や句動詞（動詞と不変化詞の組み合わせ）など英語特有の語法を知ること为目标とします。</p> <p>【授業内容・方法】 英語表現に必要な基本文法事項の解説と練習問題を各自予習してもらいます。授業で答え合わせをします。また、プリントを使いコロケーション、句動詞、限定詞、機能語、内容語を解説します。テキストを毎回2課進みます。練習問題はノートに予習してきてください。</p> <p>【授業計画】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 名詞・冠詞</td> <td>2. 代名詞</td> <td>3. 時制・進行形</td> <td>4. 完了形</td> </tr> <tr> <td>5. 助動詞</td> <td>6. 関係詞</td> <td>7. 態</td> <td>8. 不定詞</td> </tr> <tr> <td>9. 分詞</td> <td>10. 動名詞</td> <td>11. 形容詞</td> <td>12. 副詞</td> </tr> <tr> <td>13. 比較</td> <td>14. 前置詞</td> <td>15. 仮定法</td> <td></td> </tr> </table> <p>【テキスト】 『リーディングにつなげる英文法』（成美堂）1900円</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 予習を必ずしてきてください。ノートを1冊用意してください。 教室へは必ず辞書を持ってきてください。</p> <p>【評価方法】 授業への参加度（50%）、筆記試験（50%）</p>							1. 名詞・冠詞	2. 代名詞	3. 時制・進行形	4. 完了形	5. 助動詞	6. 関係詞	7. 態	8. 不定詞	9. 分詞	10. 動名詞	11. 形容詞	12. 副詞	13. 比較	14. 前置詞	15. 仮定法	
1. 名詞・冠詞	2. 代名詞	3. 時制・進行形	4. 完了形																			
5. 助動詞	6. 関係詞	7. 態	8. 不定詞																			
9. 分詞	10. 動名詞	11. 形容詞	12. 副詞																			
13. 比較	14. 前置詞	15. 仮定法																				

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放																		
20010	20012	基礎英語表現 I	2	阿部 隆夫	前期																			
<p>【達成目標】 日常に不可欠な英語表現を実生活の場面設定の中で学ぶ。言語習得の最新訓練法と異文化間コミュニケーション事例を学ぶ。</p> <p>【授業内容・方法】 状況を軸にした会話応用練習でコミュニケーション能力を向上させる。各回の初めに文字を使わない外国語指導方法の実践例や、社会言語学に基づいたコミュニケーション事例分析を紹介する。</p> <p>【授業計画】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. Personal Information 1,</td> <td>7. Arrangements 1,</td> <td>13. Humour 1,</td> </tr> <tr> <td>2. Personal Information 2,</td> <td>8. Arrangements 2,</td> <td>14. Humour 2,</td> </tr> <tr> <td>3. Shopping 1,</td> <td>9. Restaurants 1,</td> <td>15. Sport</td> </tr> <tr> <td>4. Shopping 2,</td> <td>10. Restaurants 2,</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5. The Present 1,</td> <td>11. Ambitions 1,</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6. The Present 2,</td> <td>12. Ambitions 2,</td> <td></td> </tr> </table> <p>他、偶数回に言語習得実践、奇数回に異文化間コミュニケーション事例考察を行なう。</p> <p>【テキスト】 Peter Viney & Karen Viney, <i>In English Pre-Intermediate</i> (Oxford UP, 2005); タカオ・アベ『ピンときた！納得の異文化間英語コミュニケーション』（開拓社, 2011)</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 各自の予習時に理解できなかった箇所に関しては日本語で最初に説明を受ける。その上で、平易な英語表現での指導の下、各練習にのぞむ。</p> <p>【評価方法】 日常の練習課題（40%）、口答試験（暗唱20%、討論20%、音読20%）</p>							1. Personal Information 1,	7. Arrangements 1,	13. Humour 1,	2. Personal Information 2,	8. Arrangements 2,	14. Humour 2,	3. Shopping 1,	9. Restaurants 1,	15. Sport	4. Shopping 2,	10. Restaurants 2,		5. The Present 1,	11. Ambitions 1,		6. The Present 2,	12. Ambitions 2,	
1. Personal Information 1,	7. Arrangements 1,	13. Humour 1,																						
2. Personal Information 2,	8. Arrangements 2,	14. Humour 2,																						
3. Shopping 1,	9. Restaurants 1,	15. Sport																						
4. Shopping 2,	10. Restaurants 2,																							
5. The Present 1,	11. Ambitions 1,																							
6. The Present 2,	12. Ambitions 2,																							

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
20010	20013	基礎英語表現 I	2	横山 利夫	前期	
<p>【達成目標】</p> <p>①「3行英文ライティング」: センテンス(文)・レベルのライティングは独立した単独の日本語の英語ライティングで、パラグラフ(段落)・レベルのライティングは内容的にまとまりのある複数の英文によるパラグラフ単位のライティングです。それら複数の英文のひとつひとつが前後の英文とのつながり方において適切でなければなりません。この授業「3行英文ライティング」ではパラグラフ・レベルのライティングに対応できるようになるための英語力を身につけることを目標にします。</p> <p>②テキストで使用されている基本的な言い回しを練習し、簡単な日常会話ができるようになることを目標にする。</p> <p>【授業内容・方法】</p> <p>下記の授業計画を参照のこと。前期に2回、山形大学の留学生の方々に授業に参加していただき、様々なテーマで英会話を行う。</p> <p>【授業計画】</p> <p>①について</p> <p>1 授業についてのガイダンス, 2 Weather(進行形), 3 The Four Seasons(未来形), 4 Campus Life (助動詞)</p> <p>5 Campus Life (2)(受動態), 6 Shopping(比較), 7 Eating Out(不定詞), 8 Music(現在完了), 9 Television and Radio(分詞)</p> <p>10 Methods of Communication(動名詞), 11 Methods of Transportation(前置詞), 12 Traveling Overseas(間接疑問文)</p> <p>13 Health and Exercise(接続詞), 14 A Stay in Hawaii(関係代名詞), 15 A Home Stay in Auckland, New Zealand(関係副詞)</p> <p>などのテーマについて、ライティングの練習をする。毎回、受講者には課題を出す。</p> <p>②について 毎時間さまざまなトピックで、日常会話の練習を行う。</p> <p>【テキスト】</p> <p>Hiroyuki Tomi, Curt Wold 著 Three-line Writing in English 成美堂</p> <p>【受講生へのメッセージ(授業評価を踏まえた方針など)】</p> <p>①については予習をしっかりとやること。②については積極的に英語で話そう。</p> <p>【評価方法】</p> <p>出席(特に重視 30点 2/3以上の出席で、1回欠席5点減点、受講受理期間も出席を取る)、授業での積極的な発言(20点)、筆記試験(50点)</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
20010	20014	基礎英語表現 I	2	小林 亜希	前期	
<p>【達成目標】</p> <p>基本的な英語表現のパターンを学び、英作文と英会話の基礎を習得します。また、平易な英語表現を用いて日常会話ができることを目標とします。</p> <p>【授業内容・方法】</p> <p>映画『プラダを着た悪魔』(The Devil Wears Prada)を題材にした教材を利用し、映画のセリフを活用して英語表現の基礎を学びます。基本的な英文法を確認しながら、「依頼する」、「反論する」といった言語機能を学ぶことで、コミュニケーションに必要な英語表現のパターンを習得していきます。</p> <p>【授業計画】</p> <p>①授業ガイダンス ②文の基本要素と品詞 ③過去完了/別れ際の挨拶 ④助動詞1/依頼する</p> <p>⑤関係代名詞1/反論する ⑥現在進行形/困惑を示す ⑦助動詞2/聞き返す</p> <p>⑧分詞/希望を伝える ⑨仮定法/驚きを示す ⑩現在完了形/確認する</p> <p>⑪動名詞/提案する ⑫受動態/意思・予定を述べる ⑬関係代名詞2/賞賛する</p> <p>⑭使役動詞/丁寧に依頼する ⑮まとめ</p> <p>【テキスト】</p> <p>角山照夫著 『プラダを着た悪魔』で学ぶコミュニケーション英語(松柏社)2200円+税</p> <p>【受講生へのメッセージ(授業評価を踏まえた方針など)】</p> <p>・辞書を引き、丁寧に予習してください。適宜課題を出しますので、提出してください。</p> <p>【評価方法】</p> <p>授業中の発表・課題(30%)、試験(70%)。</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
20020	20021	基礎英語表現Ⅱ	2	阿部 隆夫	後期	
<p>【達成目標】 日常に不可欠な英語表現を実生活の場面設定の中で学ぶ。言語習得の最新訓練法と異文化間コミュニケーション事例を学ぶ</p> <p>【授業内容・方法】 状況を軸にした会話応用練習でコミュニケーション能力を向上させる。各回の初めに文字を使わない外国語指導方法の実践例や、社会言語学に基づいたコミュニケーション事例分析を紹介する。</p> <p>【授業計画】 1. Sport-1, 2. Sport-2, 3. When and While-1, 4. When and While-2, 5. Phoning-1, 6. Phoning-2, 7. Quantity-1, 8. Quantity-2, 9. Futures-1, 10. Futures-2, 11. Men and Women-1, 12. Men and Women-2, 13. Obligation and Advice-1, 14. Obligation and Advice-2, 15. Starting Conversation その他、偶数回に言語習得実践練習、奇数回に異文化間コミュニケーション事例考察を行なう。</p> <p>【テキスト】 Peter Viney & Karen Viney, <i>In English Pre-Intermediate</i> (Oxford UP, 2005); タカオ・アベ『ピンときた！納得の異文化間英語コミュニケーション』（開拓社, 2011）</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 各自の予習時に理解できなかった箇所に関しては日本語で最初に説明を受ける。その上で、平易な英語表現での指導の下、各練習にのぞむ。</p> <p>【評価方法】 日常の練習課題（40%）、口答試験（暗唱 20%、討論 20%、音読 20%）</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
20020	20022	基礎英語表現Ⅱ	2	横山 利夫	後期	
<p>【達成目標】 ライティングについて：多少の誤りを気にせず、まとまった内容の英文を書けるようになること。 スピーキングについて：テキストにある単語を用いて、自分の考えを英語で話せるようになること。</p> <p>【授業内容・方法】 ①ライティングについて：下記のテキストを使用して、さまざまな読者を想定したライティングの練習を行います。また、さまざまなプロセス（Warm-up, Language Focus, Example Models, Getting Ideas, First Draft, Editing, Reflection）を通じて英語での文章の書き方を学びます。 ②スピーキングについて：ライティングのテーマでスピーキングの練習を行います。また、山形大学の留学生に授業に参加していただき、さまざまなテーマで英会話をを行う。</p> <p>【授業計画】 1. オリエンテーション 2. Self description(Informal e-mail) 3. Description of campus life(school booklet) 4. Describing a problem and possible solutions (A) (school web page) 5. Inquiring about an internship(formal e-mail) 6. Writing an entry for a class blog(Movie Review) 7. Review 8 Describing a problem and possible solutions (B) (School web page) 9. Writing about our special skills and giving advice(Student newsletter) 10. Describing your best experience(Personal story) 11. Describing trends over time(Description of a graph or charts) 12. Describing your school(Wikipedia entry) 13. Review 受講者には毎回課題（作文）を提出してもらいます。それをコピーして、受講者全員でチェックします。</p> <p>【テキスト】 Neil Cowie and Keiko Sakui 著 Get It Down— You can write in English センゲージ ラーニング (2009)</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 英語を話して、書く練習です。大いに間違ってください。毎回、予習が必要です。</p> <p>【評価方法】 提出課題 40 点、出席 40 点（授業回数の 2 / 3 以上 欠席 1 回 6 点減点、受講受理期間も出欠を取る）、授業での積極的な発言 20 点</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
20020	20023	基礎英語表現Ⅱ	2	松井 真人	後期	

【達成目標】

この授業の達成目標は、身近な事柄について平易な英語で話し、書くことができるということである。

【授業内容・方法】

毎回、受講者は身近な事柄について英語で 30 秒～1 分程度のスピーチをする。その後、テキストに沿って和文英訳の練習をする。

【授業計画】

①オリエンテーション ②助けを求める／名詞 ③紹介／現在完了形 ④誘い／受身形(1)
 ⑤ほめる／付加疑問文 ⑥驚き／関係代名詞 ⑦同意する・同意しない／代名詞 ⑧相づち／複文
 ⑨確認／受身形(2) ⑩会話を始める／to 不定詞 ⑪希望や願い／接続詞 ⑫心配して尋ねる／命令文
 ⑬推量・推測／感嘆文 ⑭⑮各自が選んだテーマについて英語で 3～5 分程度のスピーチをする。発表者は発表した内容をエッセイにまとめて後日提出し、担当教員の添削指導を受ける。

【テキスト】

David E. Bramley・河合忠仁（著）*Let's Learn Basic English for Communication* 松柏社 1,700 円（税別）

【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】

授業でスピーチをする時には、難しい英語を使う必要はない。易しい英語でよいので、語法や文法に気をつけて、しっかり準備して話してほしい。受講生が提出した英文エッセイはできるだけ丁寧に添削したい。

【評価方法】

授業への参加度（3分の2以上の出席が単位取得のノルマ）50%、最終スピーチの内容 20%、英文エッセイの内容 30%

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
20020	20024	基礎英語表現Ⅱ	2	渡邊 真由美	後期	

【達成目標】

英文法を理解し、簡単な英文を書いたり・発話できるようにする。さらに、聞き取りの能力も身に着ける。

【授業内容・方法】

テキストに沿って進めていく。授業では、まず英文法の説明をし、そのうえで英作文・聞き取りを行ってもらう。英作文については事前に予習してきてもらい、授業中に解答するようにしたい。

【授業計画】

①イントロダクション ②品詞 ③名詞 ④動詞 ⑤時制
 ⑥進行形・完了形 ⑦形容詞 ⑧副詞 ⑨修飾表現 ⑩仮定法
 ⑪法助動詞 ⑫能動形と受動態 ⑬前置詞
 ⑭可算名詞・不可算名詞 ⑮定冠詞

【テキスト】

Hideyuki Tera, Tetsuro Chihara 著 *_Vitamin G: Grammar to Energize Your English_*
 センゲージラーニング 2,000+税

【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】

辞書を必ず持参すること。予習をして来ること。

【評価方法】

单元ごとに小テストを行う。
 予習状況 30%。
 小テスト 70%。

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
20030	20031 ～33	発展英語表現Ⅰ	2	Mony Tavakoli	前期	
<p>【達成目標】 The purpose of this class is for students to learn words and expressions to convey their feelings and ideas clearly and effectively in English.</p> <p>【授業内容・方法】</p> <p>【授業計画】 Using printed articles, the teacher will teach students expressions for discussing various topics. Students will then be divided into small groups to discuss the topic in English. The teacher will supervise the discussions and answer any questions the students may have.</p> <p>【テキスト】 There is no textbook for this class. The teacher will prepare copies of material for some classes. Students will take notes. Also, students are asked to bring a Japanese-English/English-Japanese Dictionary, or an electric dictionary.</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 This class will be challenging and fun.</p> <p>【評価方法】 50% of the grade will be based on attendance and class participation. 50% will be based on a final interview exam.</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
20040	20041 ～42	発展英語表現Ⅱ	2	Mony Tavakoli	後期	
<p>【達成目標】 The purpose of this class is for students to learn how to relate stories about their life and their experiences clearly in English.</p> <p>【授業内容・方法】</p> <p>【授業計画】 Students will write a daily journal in English. Common mistakes from journals will be corrected each week. Students will be asked to prepare a story to present each week. There will also be dictation practice.</p> <p>【テキスト】 There is no textbook for this class. Students will need 2 notebooks, for notes and English journal. Also, students are asked to bring a Japanese-English/English-Japanese Dictionary, or an electric dictionary.</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 This class is very challenging, but very effective for improving English ability.</p> <p>【評価方法】 25% Class Attendance and Participation. 25% Final Interview Exam. 50% English Journal.</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
20110	20111 ～13	英会話 I	2	Mony Tavakoli	前期	
<p>【達成目標】 The purpose of this class is to learn how to use words and simple expressions that will help students to express themselves clearly and correctly in daily activities. Students will also learn how to improve their understanding of spoken English. Only English will be used when teaching this class.</p> <p>【授業内容・方法】</p> <p>【授業計画】 In each class, the teacher will teach basic phrases to discuss a general topic. Students will then be divided into small groups to practice the phrases and discuss the topic in English. The teacher will supervise the discussions and answer any questions the students may have.</p> <p>【テキスト】 There is no textbook for this class. Students will take notes. Also, students are asked to bring a Japanese-English/English-Japanese Dictionary, or an electric dictionary.</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 Don't be afraid to speak in English. English is fun! Participate enthusiastically in class activities. A good attitude makes a strong learning environment.</p> <p>【評価方法】 50% of the grade will be based on attendance and class participation. 50% will be based on a final interview exam.</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
20120	20121 ～23	英会話 II	2	Mony Tavakoli	後期	
<p>【達成目標】 The purpose of this class is to learn how to use words and simple expressions that will help students to express themselves clearly and correctly in daily activities. Students will also learn how to improve their understanding of spoken English. Only English will be used when teaching this class. The contents of this class are different from English Conversation I .</p> <p>【授業内容・方法】</p> <p>【授業計画】 In each class, the teacher will teach basic phrases to discuss a general topic. Students will then be divided into small groups to practice the phrases and discuss the topic in English. The teacher will supervise the discussions and answer any questions the students may have.</p> <p>【テキスト】 There is no textbook for this class. Students will take notes. Also, students are asked to bring a Japanese-English/English-Japanese Dictionary, or an electric dictionary.</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 Don't be afraid to speak in English. English is fun! Participate enthusiastically in class activities. A good attitude makes a strong learning environment.</p> <p>【評価方法】 50% of the grade will be based on attendance and class participation. 50% will be based on a final interview exam.</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
20210		リーディング I	2	渡邊 真由美	前期	
<p>【達成目標】 アメリカ開国以来の諸問題、宗教・奴隷制・司法制度（三権分立）・暴力（戦争）などをアメリカの歴史的背景を踏まえて理解できるようにします。</p> <p>【授業内容・方法】 テキストを使用します。映画のなかで描かれてきた上記の問題について英語の解説文を読んでいきます。まず、歴史的な背景を説明し、テキストの英文を読んでいきます。英文は必ず予習をして読んで授業に出席してもらい、授業では指名して英文の訳をつけてもらいます。半期を通してほぼ同じ回数、当たるようにしていきます。</p> <p>【授業計画】 一回の授業で一課ずつ進めていきます。</p> <p>1. イントロダクション 2-3. 人種と階級(Chap. 2-3) 4. 宗教(Chap. 4) 5. 司法制度(Chap. 5) 6-7. 暴力(Chap. 6-7) 8. 西部開拓と英雄 (Chap. 1, 8) 9-10. 戦争(Chap. 9, 14) 11. 健康(Chap. 11) 12. 教育(Chap. 12) 13. ロック(Chap. 13) 14. 実用主義(Chap. 15) 15. まとめ</p> <p>【テキスト】 Christopher J. Armstrong, Anthony Piccolo 他著 Reading Contemporary America: 15 Critical Views of Culture and Society 『問題意識をもって読むアメリカ 15のトピック』 松柏社 2,100円＋税</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 アメリカ文学史を履修希望者は、合わせて受講することが望ましい。 予習は必ずして来ること。辞書を必ず持参すること。</p> <p>【評価方法】 授業態度・出席状況 20% 期末試験 80%</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
20220		リーディングⅡ	2	太田 裕子	前期	
<p>【達成目標】 英語で書かれた統語論に関する入門書（注釈付きのテキスト）を読み、統語論に関する基礎的な知識を身につけます。語彙力の養成、要約作成に取り組みます。</p> <p>【授業内容・方法】 編入学試験対策を視野に入れて、演習形式で授業を行います。Chapter6-8を読む予定です。和訳担当を決めて発表していただきます。訳すところの英文を読んでから、和訳をしてください。クラス全体に聞こえるようにゆっくりと大きな声で発表しましょう。発表者は和訳を紙に書いて用意してきましょう。各セクションを読んだ後、内容の要約を作成します。グループワークで要約を完成させます。完成した要約は提出していただきます。</p> <p>【授業計画】 第1回オリエンテーション 第2～13回 Chater6を読む 第14－15回 習熟度の確認</p> <p>【テキスト】 現代の英語学（理論と応用）南雲堂（2003） 2,200円（税抜） 大沢茂 編注 ISBN4-523-30027-5</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 予習として大まかな情報を読み取るだけなら、速読でいいのですが、読解に必要な語彙力養成のために単語の意味調べをするようにしましょう。和訳担当者以外の人にも内容に関する質問や和訳をお願いすることがあります。</p> <p>【評価方法】 授業で読んだところの内容理解、文法事項、語彙に関する筆記試験を行います。 グループワークへの参加、要約の提出も評価の対象とします。</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
20230		リーディングⅢ	2	金子 淳	後期	
<p>【達成目標】 1. 英米文学の基礎力を身につけることができるようになる。 2. 難易度の高い英文を読むことができるようになる。</p> <p>【授業内容・方法】 毎回、一人ずつ、英米文学の代表的な作家について取り上げ、文学史を概観します。それから、「授業計画」に記載している作品について、特に有名な部分を読み、映画で該当する場面を観て、英語と英米文学・文化への理解を深めます。英語の力をつけると同時に、名作を味わい、教養を身につけることがねらいです。</p> <p>【授業計画】 ①はじめに ②『エデンの東』1 ③『エデンの東』2 ④『エデンの東』3 ⑤『エデンの東』4 ⑥『エデンの東』5 ⑦『風とともに去りぬ』1 ⑧『風とともに去りぬ』2 ⑨『風とともに去りぬ』3 ⑩『風とともに去りぬ』4 ⑪『ティファニーで朝食を』1 ⑫『ティファニーで朝食を』2 ⑬『ティファニーで朝食を』3 ⑭『ティファニーで朝食を』4 ⑮まとめ</p> <p>【テキスト】 使用しません。適宜、配布します。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 英米文学の原文を読むので、少し難しく感じるかもしれませんが、なるべく理解しやすいものを選び、つもりでいます。必ず、講義の前は予習をして下さい。そして、講義の後には復習をして下さい。</p> <p>【評価方法】 複数回の小テスト（40%）、レポート等（40%）、授業への参加度（20%）</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
20240		リーディングⅣ	2	松井 真人	後期	
<p>【達成目標】 この授業の達成目標は、英文を精読する力を身につけることである。</p> <p>【授業内容・方法】 スヌーピーやチャーリー・ブラウンが登場する漫画『ピーナッツ』を題材としたテキストを用いる。毎回、2つの漫画を英語で読んだ後で、その漫画に関連する英文エッセイを精読する。受講生が英文を訳し、担当教員が解説をするというやり方で授業を進める。</p> <p>【授業計画】 ①オリエンテーション ②Lesson 1 ③Lesson 1 ④Lesson 2 ⑤Lesson 2 ⑥Lesson 3 ⑦Lesson 3 ⑧Lesson 4 ⑨Lesson 4 ⑩Lesson 5 ⑪Lesson 5 ⑫Lesson 6 ⑬Lesson 6 ⑭Lesson 7 ⑮Lesson 7</p> <p>【テキスト】 外山晴子（著）<i>Enjoy English with Charlie Brown and Friends</i> 南雲堂 2,100円（税別）</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 必ず予習をしてから授業に参加すること。授業ではできるだけ丁寧に解説するが、分からない点があれば遠慮なく質問してほしい。</p> <p>【評価方法】 授業への参加度（3分の2以上の出席が単位取得のノルマ）（約25%）、学期末試験（約75%）</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放															
20310		ライティング I	2	米野 裕子	前期																
<p>【達成目標】 1. 先ず運指法を身につけ、英文メールの様々な文例を学びます。 2. 独力で英文メールが書けるように、演習をしていきます。</p> <p>【授業内容・方法】 テキストを中心に進めながら、付随するトピックのプリントを用意します。リスニング力をつけるため、テキストに添ったCDを毎回聴いていきます。</p> <p>【授業計画】</p> <table border="0"> <tr> <td>1～2. PC設定とキーの運指練習</td> <td>7. 様々なお礼</td> <td>12. 予約する</td> </tr> <tr> <td>3. 自己紹介と自分が住む町を紹介</td> <td>8. 苦情を述べる</td> <td>13. お見舞い・お悔み</td> </tr> <tr> <td>4. アドバイスを求める・提案する</td> <td>9. 謝罪する</td> <td>14. 応募する・問い合わせる</td> </tr> <tr> <td>5. 様々な依頼</td> <td>10. 励ます</td> <td>15. 英文履歴書作成とそのカバーレター</td> </tr> <tr> <td>6. 招待する・誘いを断る</td> <td>11. 祝福する</td> <td></td> </tr> </table> <p>【テキスト】 “Write Me Back Soon!” Communicating through Email (金星堂) 2000円(税別) 授業の最後に、提出課題作成に入るため、和英辞書とUSBが必要です。</p> <p>【受講生へのメッセージ(授業評価を踏まえた方針など)】 多様な英文メールが書けるようチャレンジしてみたい、と思う学生を歓迎します。毎授業後に送信された課題は、添削し返信します。</p> <p>【評価方法】 授業への参加度(60%)、毎授業後に提出された課題内容(40%)</p>							1～2. PC設定とキーの運指練習	7. 様々なお礼	12. 予約する	3. 自己紹介と自分が住む町を紹介	8. 苦情を述べる	13. お見舞い・お悔み	4. アドバイスを求める・提案する	9. 謝罪する	14. 応募する・問い合わせる	5. 様々な依頼	10. 励ます	15. 英文履歴書作成とそのカバーレター	6. 招待する・誘いを断る	11. 祝福する	
1～2. PC設定とキーの運指練習	7. 様々なお礼	12. 予約する																			
3. 自己紹介と自分が住む町を紹介	8. 苦情を述べる	13. お見舞い・お悔み																			
4. アドバイスを求める・提案する	9. 謝罪する	14. 応募する・問い合わせる																			
5. 様々な依頼	10. 励ます	15. 英文履歴書作成とそのカバーレター																			
6. 招待する・誘いを断る	11. 祝福する																				

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放																		
20320		ライティング II	2	米野 裕子	後期																			
<p>【達成目標】 1. 外資系の会社で働く人が、現場で即使える実践的なビジネスメールを学んでいきます。 2. 英語を使う現場に役立つ、様々な場面のショートダイアログも毎授業で習います。</p> <p>【授業内容・方法】 毎授業の始めに基礎的なビジネス用語「ドリル」のテストをし、その後、授業計画に基づいた学習に添って、実際に作文演習していきます。</p> <p>【授業計画】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 商品の問い合わせ・その返信</td> <td>7. 契約書の送付・返信</td> <td>13. クレーム・対応</td> </tr> <tr> <td>2. 見積り依頼・その返信</td> <td>8. 会議開催の通知・返信</td> <td>14. 社交の挨拶</td> </tr> <tr> <td>3. 商品の注文・その返信</td> <td>9. 議事録の送付・返信</td> <td>(慶弔・退職・受賞等)</td> </tr> <tr> <td>4. 出荷・発送・受領</td> <td>10. 社内メモの作成・通知</td> <td>15. 英文履歴書作成とそのカバーレター</td> </tr> <tr> <td>5. 代金の請求・その返信</td> <td>11. アポを取る・応答する</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6. 提携の申し出・その返信</td> <td>12. 出張手配の依頼・返信</td> <td></td> </tr> </table> <p>【テキスト】 授業毎にプリントを配布します。授業後半に提出課題文を作成しますので、USBが必要です。</p> <p>【受講生へのメッセージ(授業評価を踏まえた方針など)】 将来、外資系の企業で働いてみたい、またはビジネス英語に関心がある、という学生に最適な授業です。毎授業後に送信された課題は、添削し返信します。</p> <p>【評価方法】 授業への参加度(60%)、毎授業後に提出された課題(20%)、「ドリル」テストの点数(20%)</p>							1. 商品の問い合わせ・その返信	7. 契約書の送付・返信	13. クレーム・対応	2. 見積り依頼・その返信	8. 会議開催の通知・返信	14. 社交の挨拶	3. 商品の注文・その返信	9. 議事録の送付・返信	(慶弔・退職・受賞等)	4. 出荷・発送・受領	10. 社内メモの作成・通知	15. 英文履歴書作成とそのカバーレター	5. 代金の請求・その返信	11. アポを取る・応答する		6. 提携の申し出・その返信	12. 出張手配の依頼・返信	
1. 商品の問い合わせ・その返信	7. 契約書の送付・返信	13. クレーム・対応																						
2. 見積り依頼・その返信	8. 会議開催の通知・返信	14. 社交の挨拶																						
3. 商品の注文・その返信	9. 議事録の送付・返信	(慶弔・退職・受賞等)																						
4. 出荷・発送・受領	10. 社内メモの作成・通知	15. 英文履歴書作成とそのカバーレター																						
5. 代金の請求・その返信	11. アポを取る・応答する																							
6. 提携の申し出・その返信	12. 出張手配の依頼・返信																							

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放																
20410		リスニングⅠ	2	北山 長貴	前期																	
<p>【達成目標】 1. 映画を鑑賞しながら英語リスニング能力の向上を図ること。 2. 英語を聞き取るために必要な英語の音声的特徴を理解すること。</p> <p>【授業内容・方法】 映画『イン・アメリカ』を教材にリスニングを勉強します。アイルランドの一家がニューヨークへ移り住み、そこでの経験を通して家族の絆を深めていく内容です。ストーリーを追いながら英語のリスニング力をつけます。様々な聞き取り練習と、ペアワークを通して英語の発音の練習もします。1回の授業で1課進みます。</p> <p>【授業計画】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 映画を観ます</td> <td>8. Unit 7 “Desperado”</td> </tr> <tr> <td>2. Unit 1 Do You Believe in Magic?</td> <td>9. Unit 8 Masselo Masela</td> </tr> <tr> <td>3. Unit 2 Humidity</td> <td>10. Unit 9 Do You Believe in Aliens?</td> </tr> <tr> <td>4. Unit 3 A Game of Chance</td> <td>11. Unit 10 Pray for the New Baby</td> </tr> <tr> <td>5. Unit 4 Halloween</td> <td>12. Unit 11 Mateo and the New Born Baby</td> </tr> <tr> <td>6. Unit 5 Colcannon</td> <td>13. Unit 12 Say Goodbye to Frankie, Dad</td> </tr> <tr> <td>7. Unit 6 I’m in Love with Anything that Lives</td> <td>14. 映画をもう一度観ます</td> </tr> <tr> <td></td> <td>15. まとめ</td> </tr> </table> <p>【テキスト】 『イン・アメリカ 三つの小さな願いごと』（英宝社）1900円＋税 ISBN: 4-269-44002-3</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 教室に辞書を持ってきてください。出席は毎回とります。</p> <p>【評価方法】 授業への参加度（30%）と筆記試験（70%）</p>							1. 映画を観ます	8. Unit 7 “Desperado”	2. Unit 1 Do You Believe in Magic?	9. Unit 8 Masselo Masela	3. Unit 2 Humidity	10. Unit 9 Do You Believe in Aliens?	4. Unit 3 A Game of Chance	11. Unit 10 Pray for the New Baby	5. Unit 4 Halloween	12. Unit 11 Mateo and the New Born Baby	6. Unit 5 Colcannon	13. Unit 12 Say Goodbye to Frankie, Dad	7. Unit 6 I’m in Love with Anything that Lives	14. 映画をもう一度観ます		15. まとめ
1. 映画を観ます	8. Unit 7 “Desperado”																					
2. Unit 1 Do You Believe in Magic?	9. Unit 8 Masselo Masela																					
3. Unit 2 Humidity	10. Unit 9 Do You Believe in Aliens?																					
4. Unit 3 A Game of Chance	11. Unit 10 Pray for the New Baby																					
5. Unit 4 Halloween	12. Unit 11 Mateo and the New Born Baby																					
6. Unit 5 Colcannon	13. Unit 12 Say Goodbye to Frankie, Dad																					
7. Unit 6 I’m in Love with Anything that Lives	14. 映画をもう一度観ます																					
	15. まとめ																					

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
20420		リスニングⅡ	2	横山 利夫	後期	
<p>【達成目標】 ビデオ教材については、内容を理解し、用意された質問に答えること。 ヒアリング教材については、冠詞、前置詞などの聞き漏らしを少なくすること。</p> <p>【授業内容・方法】</p> <p>① 「Life in New York:使える英会話」というビデオ教材を用います。日本からニューヨークへ演劇の勉強のために留学した宮川香世さんが大都会で生活し、学び、友達と一緒に遊び、悩み、成長していく姿を描いたビデオです。ドラマとして楽しむと共に、リスニング力の向上をめざします。</p> <p>② 5分間ヒアリング：日本人留学生の健と恵理がアメリカ人学生の Dan や Susie と一緒に、キャンパスで繰り広げる生活の諸相です。各状況で話題にのぼっている内容に関して、情報を正確に聴き取るのに必要な基本的表現を学習します。</p> <p>【授業計画】</p> <p>①について：毎回以下のエピソードをビデオで見て、質問事項が書いてあるプリントで、内容を理解しているかどうか確認しながら授業を進める。</p> <p>1. Call 911! 2. I’ m a little worried. 3. It’ s not that easy. 4. Kayo, this is Brian. 5. Life at Bernie’ s Restaurant 6. With Brian to the Rockefeller Center 7. With Brian to Soho 8. A Lesson from Mr. Altman 9. A Double Date 10. New York Streets 11. Getting Ready to Act 12. A Manhattan Halloween 13. A Different Experience 14. Forget it! 15. A Thanksgiving Dinner など</p> <p>②について：それぞれのユニットでは、時間、レイアウト、価格、指示、距離、比較、数量、場所、天候、仕事、電話、割合などの表現を学習します。</p> <p>【テキスト】 ビデオ教材：Life in New York 使える英会話 Steve Jones, Tsukasa Matsui 著 A Shorter Course in Listening 南雲堂</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 間違ったらどうしようとか考えずに、積極的なプラス思考でやろう。</p> <p>【評価方法】 期末試験と小テスト（60点）、出席状況（30点 2/3 以上の出席、1回欠席5点減点、受講受理期間も出席を取る）、授業での積極的な発言（10点）。</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
20450		TOEFL リスニング	2	阿部 隆夫	後期	
<p>【達成目標】 TOEFL 聞き取りセクションの得点を上げる。北アメリカの英語とヨーロッパの英語との両方が聞こえるようにする。</p> <p>【授業内容・方法】 コンピュータ端末受験 TOEFL 聞き取りセクションを紹介し、準備、訓練方法を学ぶ。また UK を基本とした英語の聞き取りになれることで、相対的に北アメリカ大陸の英語をも聞き取れるように練習する。同時に両方の発音の違いを学ばせる。</p> <p>【授業計画】 毎回、前半は TOEFL の練習を通じて北アメリカ英語の聞き取りを扱い、後半は別の教材でヨーロッパ系英語の聞き取りを扱う。</p> <p>① TOEFL 問題 Nos. 1-5 (以下、T 1-5), Headway, Chap. 1 (以下、H1) ②T 6-10, H1, ③T 11-20, H2, ④T 21-30, H2, ⑤T 31-40, H3, ⑥T 41-50, H3, ⑦T 51-60, H4, ⑧T 61-65, H4, ⑨T 66-70, H5, ⑩T 71-75, H5, ⑪T 76-80, H6, ⑫T 81-90, H6, ⑬T 95-100, H7, ⑭H7-8, ⑮H8-9</p> <p>【テキスト】 <i>The Official Guide to the TOEFL Test 4th Edition</i> (McGraw Hill, 2013), Emma and Gary Pathare, <i>Headway Academic Skills: Listening, speaking and Study Skills</i> (Oxford UP, 2011)</p> <p>【受講生へのメッセージ (授業評価を踏まえた方針など) 北アメリカとヨーロッパの両方の大学に留学した実経験を基に発音や表現の大まかな地域差を説明する。また英語圏の TV 放送や映画が聞き取りやすくなるコツと訓練方法を紹介する。聞き取り能力が精神集中度に左右されると勘違いしている者に特に受講を勧める。</p> <p>【評価方法】 試験 80%、音読復習 20%</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
20460		TOEIC リスニング	2	松井 真人	前期	
<p>【達成目標】 この授業の達成目標は、TOEIC のリスニングセクションで 300 点以上のスコアが取れる英語リスニング力を身につけることである。</p> <p>【授業内容・方法】 毎回、リスニングをする際に注意すべきポイントを担当教員が解説した後、受講生は TOEIC 形式の問題を解いていく。そして答え合わせをしながら、担当教員が問題の解説をする。現行の TOEIC の形式に対応するため、アメリカ英語ばかりでなく、カナダ、イギリス、オーストラリアの英語を聞き取る練習もする。また、使用テキスト以外の視聴覚教材を用いたリスニング練習もする予定である。</p> <p>【授業計画】 ①オリエンテーション ②Unit 1 Daily Life ③Unit 2 Restaurant ④Unit 3 Party ⑤Unit 4 Airport ⑥Unit 5 Hotel ⑦Unit 6 Traffic ⑧Unit 7 Tour & Event ⑨Unit 8 Shopping ⑩Unit 9 Service ⑪Unit 10 Health ⑫Unit 11 Finance & Banking ⑬Unit 12 Housing ⑭Unit 13 Media ⑮Unit 14 Business (時間に余裕があればさらに多くの Unit を学習する。)</p> <p>【テキスト】 塚田幸光 (著) <i>STRIKE UP THE TOEIC® TEST LISTENING</i> 金星堂 1,500 円 (税別)</p> <p>【受講生へのメッセージ (授業評価を踏まえた方針など) 授業ではできるだけ詳しく問題の解説をしていきたい。受講生の皆さんは、テキストの問題を収録した音声ファイル (無料でダウンロード可能)、ラジオ、テレビ、インターネット、市販教材などを利用して、授業以外の時間にもできるだけ多く英語を聞く努力をしてほしい。</p> <p>【評価方法】 授業への参加度 (3 分の 2 以上の出席が単位取得のノルマ) (約 25%)、学期末試験 (約 75%)</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
20510		英文法 I	2	松井 真人	前期	
<p>【達成目標】 この授業の達成目標は、高校までに学んだ英文法を復習し、本学英語英文学科で専門的な勉強する上で必要な英文法の知識を身につけることである。</p> <p>【授業内容・方法】 毎回、担当教員がテキストに沿って文法項目の解説をした後で、受講生は練習問題に取り組む。理解を深めるために視聴覚教材も用いる。</p> <p>【授業計画】 ①オリエンテーション ②品詞 ③時制・進行形 ④基本 5 文型 ⑤現在完了 ⑥過去完了・未来完了 ⑦法助動詞 ⑧仮定法 ⑨関係節 ⑩関係副詞 ⑪分詞構文 ⑫冠詞 ⑬不定詞 ⑭受け身形 ⑮使役形</p> <p>【テキスト】 藤田直也（著）『クラスで読む英文法』朝日出版社 1,800 円（税別）</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 できるだけ丁寧に解説していくが、分からない点があれば遠慮なく質問してほしい。また、しっかり予習と復習をして、授業で学んだことを徹底的に覚え、英文法の知識を増やしてほしい。</p> <p>【評価方法】 授業への参加度（3分の2以上の出席が単位取得のノルマ）（約 25%）、学期末試験（約 75%）</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
20520		英文法 II	2	阿部 隆夫	後期	
<p>【達成目標】 英語圏で文法を学習するように英語のままの文法用語で理解し文法の説明ができるようになること</p> <p>【授業内容・方法】 中級程度の文法項目を中心に取り上げ、それを英語圏で文法を学習するように英語のままの文法用語で理解し文法の説明ができるようになる程度まで練習する。その過程で英語文法の素養を育む。各自が文法を暗記するよりも、言語認識の観点から自分の言葉で文法の仕組みを説明できるレベルを目指す。また副教材では、日本語発想の文法・語彙の間違いを問題形式で習う。</p> <p>【授業計画】 主教材 1. Present & past, 2. Present perfect & perfect tenses, 3. Future, 4. Mixed tenses & questions, 5. Modal verbs A, 6. Modal verbs B, 7. Verb forms A, 8. Verb forms B, 9. Verb forms C, 10. Verb forms D, 11. Nouns & pronouns, 12. Building sentences A, 13. Adjectives & adverbs, 14. Building sentences B, 15. Review 副教材では毎回 1 ページずつ 15 ページまで進む。</p> <p>【テキスト】 Ken Patterson, <i>Oxford Living Grammar Upper-intermediate</i> (Oxford UP, 2012), 副教材 Takao Abe, <i>Common Mistakes of English</i> (非売品のため無料配布)</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 設問と答え・解説が明快で TOEFL や TOEIC にも応用できる文法項目別構成の問題集を使うので、毎回 1, 2 単元分の予習が必要となる。</p> <p>【評価方法】 毎回の小テスト（20%）と期末試験（80%）で判定する。</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
20610		時事英語	2	渡邊 真由美	前期	外国語

【達成目標】

新聞や雑誌に書かれている英語を読み、内容が理解できるようになる。さらには、英文の内容を日本語で手短かにまとめることができるようになる。

【授業内容・方法】

新聞や雑誌などの記事を予習として読んできてもらって、授業中にその記事についての問題を解いてもらう。問題としては、訳・内容確認・内容を要約するなど。それらの問題を30分ほどで解き、同授業内で他己採点する。他己採点が終わった解答を一時回収。

【授業計画】

1. イントロダクション 2-15. 新聞や雑誌の記事を毎回一篇ずつ読む。

【テキスト】

こちらで準備する。

【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】

事前に渡す記事を必ず読んで授業に出席すること。

【評価方法】

毎回の解答を見せてもらい評価とする。

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
20710		イギリス文学史	2	小林 亜希	後期	教養

【達成目標】

イギリス文学（詩、演劇、小説）の歴史を学ぶことで、歴史と文学のダイナミズムを捉え、英語圏の文化や思想を理解するための基本的な教養を身につける。

【授業内容・方法】

イギリス文学の歴史を、時代毎に代表的な作家のテキスト（詩、演劇、小説）の一部を読みながら概観します。また、文学テキストだけでなく、映画や絵画などの文化表象を手がかりに、歴史と文学のダイナミズムを捉えてみたいと思います。

【授業計画】

- | | | |
|------------------|------------------|------------------|
| ① ガイダンス | ② 古英語・中英語の文学 | ③ ルネサンスの詩 |
| ④ シェイクスピア (1) | ⑤ シェイクスピア (2) | ⑥ 清教徒革命～王政復古期の文学 |
| ⑦ 小説の誕生 (1) | ⑧ 小説の誕生 (2) | ⑨ ロマン主義 |
| ⑩ ヴィクトリア朝の小説 (1) | ⑪ ヴィクトリア朝の小説 (2) | ⑫ 大戦間の詩 |
| ⑬ 大戦間的小説 | ⑭ 第二次大戦後の文学 | ⑮ まとめ |

※授業の進度は、受講生の関心に応じて変わることがあります。

【テキスト】

参考資料を適宜配布します。

【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】

- ・毎回コメントシートに感想や質問を書いてもらい、次の授業で受講者の関心に応えることで、双方向的な授業を目指します。
- ・毎回参考図書を紹介します。積極的に図書館を活用してください。

【評価方法】

試験（100％） 授業回数数の3分の2以上の出席が条件です。

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
20720		アメリカ文学史	2	渡邊 真由美	前期	教養
<p>【達成目標】 アメリカ文学の歴史のあらましをアメリカの政治・文化状況を踏まえ、理解できるようになる。</p> <p>【授業内容・方法】 アメリカの文学史の流れを時系列的に説明していく。その時代に現れた文学動向のなかで重要な作品については映像（映画）や原文などを参考にしながら説明していく。</p> <p>【授業計画】 ①イントロダクション ②－③植民地時代の文学 ④－⑥ロマン主義 ⑦アメリカン・ルネッサンス ⑧19世紀女性文学 ⑨－⑫リアリズム文学 ⑬モダニズム文学 ⑭ポストモダニズム文学 ⑮現代</p> <p>【テキスト】 適宜必要なプリントを用意し、授業中に配布する。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 リーディング I を受講していることが望ましい。</p> <p>【評価方法】 期末試験 100%</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
20730		イギリス文学作品研究	2	小林 亜希	前期	教養
<p>【達成目標】 三つの文学ジャンル（詩、演劇、小説）を読むことを通して、文学テキストを多様なコンテキストから解釈する方法を学び、イギリスの思想、歴史、文化についての基本的な理解を深める。</p> <p>【授業内容・方法】 詩、演劇、小説の中から、それぞれ代表的な作品を取り上げ、文学的修辞法や文化的コンテキストに留意しながら、テキストの一部を読み進めていきます。訳読と講義を織り交ぜながら進める予定です。扱う詩人は、Shakespeare、Wordsworth、Blake 等です。演劇は、William Shakespeare (1564-1616) の <i>Hamlet</i> を扱い、映画を見ながら分析します。小説は、George Orwell (1903-1950) の <i>Animal Farm</i> (1945) を扱います。</p> <p>【授業計画】 ①ガイダンス ②英文学とは何か ③～⑥イギリス詩を読む ⑦～⑩『ハムレット』を読む ⑪～⑬『動物農場』を読む</p> <p>【テキスト】 適宜資料を配付します。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 ・扱うテキストは事前に配布しますので、予習して授業に臨んで下さい。 ・翻訳でよいので、事前に『ハムレット』と『動物農場』を通読しておくとう理解が深まります。</p> <p>【評価方法】 試験（100%） 授業回数の3分の2以上の出席が条件です。</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
20740		アメリカ文学作品研究	2	渡邊 真由美	後期	
<p>【達成目標】 アメリカ文学の短編を読む。辞書を丁寧に引き、英文の意味を理解する。そのうえで、作品がいかなるテーマをもち、どのような手法によって描かれているのか、を読み取れるようにする。</p> <p>【授業内容・方法】 ワシントン・アーヴィングの「スリーピーホロウの伝説」(1819-20)とシャーロット・パーキンス・ギルマンの「黄色い壁紙」(1892)を読む。作品に入る前に、作家・作品の時代背景などを説明する。指定箇所を予習として読んできてもらい、授業中に指名して訳をつけてもらう。そのうえで広く意見を聞きながら、作者が意図していることはなにかを探っていききたい。</p> <p>【授業計画】 ① イントロダクション ②-⑧ 「スリーピーホロウの伝説」 ⑨-⑭ 「黄色い壁紙」 ⑮ まとめ、映画を鑑賞する場合あり</p> <p>【テキスト】 こちらで用意します。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 いずれも古い作品ですが、現在でも広く読まれている作品です。100年以上にわたって読まれてきた理由を考えながら読んでください。</p> <p>【評価方法】 いずれかの作品についてのレポートを求める。 予習・欠席状況 40% レポート 60%</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
20750		英米児童文学作品研究	2	井辻 朱美	集中 (9月)	教養
<p>【達成目標】 今や児童文学の話題作品の多くがファンタジーです。ファンタジーとは何か、神話から『ハリー・ポッター』にいたるこの文学の現代的意味あいとその可能性を考えます。</p> <p>【授業内容・方法】</p> <p>【授業計画】 ファンタジーに特有のモチーフやトピックを抽出し、作品をクロスオーバー的に見ていきます。項目としては「タイム・ファンタジー」「自然界のエレメント（地水火風）と無意識」「家屋の物語」「編集される空間——博物館ファンタジー」「サイコ・ファンタジー」「死後譚と輪廻転生」「魔法ファンタジー」「人工生命（人形・ロボット・フィギュア）と身体論」「粹物語」などを予定しています。</p> <p>その他、J・R・R・トールキン、C・S・ルイス、U・K・ル＝グウィンなどモダン・ファンタジーの代表的作家をとりあげ、そのモチベーションや方法論なども見る予定です。途中で映像化作品を1・2本見て、ファンタジーの構造について考えます。</p> <p>なお、とりあげる作品は海外のものになりますが、邦訳本のあるものを用います。比較対照のために、荻原規子、宮部みゆき、梨木香歩、小野不由美、上橋菜穂子など日本作家の作品も随時織り込みたいと考えています。「ホビット」「ハリー・ポッター」など、最近の和洋のファンタジー映画についてもふれられたらと思います。</p> <p>【テキスト】 プリント配布</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 自分の感性、ものの見方を大切にして作品と向き合ってください。</p> <p>【評価方法】 10月末提出のレポートによります。レポートに取りあげる作品は書物に限らず、アニメ、コミック、映画なども含めます。</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
20760		英米文学講読	2	小林 亜希	後期	外国語

【達成目標】

- 1、基本的な語彙と文法に留意しながら、英語を正確に読む基礎を身につける。
- 2、文化、歴史、修辞技法などに留意しながら、文学テクストを読む基礎を身につける。

【授業内容・方法】

アイルランドの作家 James Joyce (1882-1941) の *Dubliners* (1914) に所収されている短編小説 ‘Cray’ とアメリカの作家 Ernest Hemingway (1899-1961) の *Men Without Women* (1927) に所収されている短編小説 ‘Hills Like White Elephant’ を精読します。一文ずつ訳読しながら読み進め、重要な英語表現、語りの技法、文化的背景を解説します。また、文学理論を援用した分析の方法についても講義します。

【授業計画】

- ① ガイダンス
- ② 英文読解の基礎
- ③～⑧ James Joyce の ‘Cray’ を読む
- ⑨～⑭ Ernest Hemingway の ‘Hills Like White Elephant’ を読む
- ⑮ まとめ

【テキスト】

プリントを配布します。

【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】

- ・辞書を丁寧に引いて予習してください。
- ・図書館とインターネットを積極的に活用してください。

【評価方法】

授業での発表（20%）レポート（80%）。授業回数の3分の2以上の出席が条件です。

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
20810		英米文学基礎演習 I	2	小林 亜希	後期	

【達成目標】

1. 基本的な語彙力と文法力を身につけ、英文読解の基礎を習得する。
2. 様々なコンテクストに留意しながら、文学テクストを精読する方法を身につける。

【授業内容・方法】

20世紀イギリスの短編小説を精読し、分析します。扱う小説は、ニュージーランド出身の作家 Catharine Mansfield (1888-1923) の ‘The Garden Party’ です。語りの技法、文化的、社会的背景等に留意しながら読み進めます。また、物語論(Narratology)を援用した分析の方法についても講義します。

【授業計画】

- ① ガイダンス
- ② 物語論入門
- ③～⑬ Catharine Mansfield の ‘The Garden Party’ を読む
- ⑭ 解釈についてのディスカッション
- ⑮ まとめ

【テキスト】

プリントを配布します。

【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】

- ・基本的な文法から丁寧に解説し、わかりやすい説明を心がけたいと思います。
- ・丁寧に予習し、問題点を考えて演習に臨んでください。

【評価方法】

授業での発表（20%）、レポート（80%）。授業回数の3分の2以上の出席が条件です。

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
20820		英米文学基礎演習Ⅱ	2	渡邊 真由美	後期	
<p>【達成目標】 文学作品を背景を踏まえて、読み解くことができるようになる。さらに内容を的確に要約し、自分の関心を説明できる力を養っていく。</p> <p>【授業内容・方法】 ヘンリー・ジェームズの『デイジー・ミラー』を読む。この作品は、ジェームズの作品のなかでも「国際もの」と呼ばれる作品群に属し、アメリカ娘がヨーロッパで体験する異文化の壁について描かれたものである。勃興しつつあった新興国アメリカと、古き伝統を守ろうとするヨーロッパ。この対立をどのように読み解けばいいのかを考えながら演習を進めていく。 演習では担当を決め、担当部分の内容の要約、翻訳、読んでみて重要・面白いと思った点を紹介してもらう。</p> <p>【授業計画】 ① イントロダクション ②-⑭ 担当を決めて読む。 ⑮ まとめ</p> <p>【テキスト】 ヘンリー・ジェームズ『デイジー・ミラー』西川正身 解説注釈 研究社 1,400円+税</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 一度に7-8ページ読み進めます。予習をし、自分の意見をまとめて授業に参加してください。</p> <p>【評価方法】 予習状況 40% レポート 60%</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
20910		英米文学演習Ⅰ	4	小林 亜希	通年	
<p>【達成目標】 ・文学テキストを多様なコンテキストから解釈する方法を身につける。 ・イギリスの思想、文化、歴史についての理解を深める。</p> <p>【授業内容・方法】 ・E・M・フォースター（E. M. Forster, 1879-1970）の『眺めのいい部屋』（<i>A Room With A View</i>, 1908）を精読し、分析します。テキストに登場する絵画、建築、音楽、インテリアといった文化表象と英国の階級制度に注目することで、19～20世紀の美学と文学に通底する〈感性〉について考察します。 ・毎回4～5ページを担当者が訳読・要約し、問題点を指摘した上で解釈について議論します。</p> <p>【授業計画】 【前期】 ①授業ガイダンス ②講義：イギリスの階級制度について ③～⑭ 『眺めのいい部屋』を精読し、議論 ⑮まとめ 【後期】 ①レポートの書き方について ②～⑭ 『眺めのいい部屋』を精読し、議論 ⑮まとめ</p> <p>【テキスト】 E.M. Forster. <i>A Room with a View</i>. London: Penguin, 2000.</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 ・受講者との双方向的な授業を展開できるよう心がけたいと思います。 ・予習する際には辞書を引くだけでなく、図書館やインターネットを積極的に活用してください。</p> <p>【評価方法】 レポート（50%）、授業中の発表（50%）。授業回数数の3分の2以上の出席が条件です。</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
20920		英米文学演習 II	4	渡邊 真由美	通年	

【達成目標】

アメリカ小説の短編の原文を辞書を引きながら、正確に読めるようにする。それぞれの作家が抱えているテーマや文体にも注意をはらいながら、自分なりのテーマを見つけ出し、調べ、自分の考えを発表できるようにする。

【授業内容・方法】

アメリカ文学の短編を何篇か読みます。エドガー・アラン・ポーの「アッシャー家の崩壊」(1839)、シャーウッド・アンドソンの代表作で短編連作ともいえる『ワインズバーグ、オハイオ』(1919)から「手」、イーディス・ウォートンの「ローマ熱」(1934)、アーネスト・ヘミングウェイの「キリマンジャロの雪」(1936)、ジョン・スタインベックの「朝食」(1938)を読みます(読む順序は異なります)。これらの作品はいずれもアメリカ文学のなかで繰り返し扱われる重要なテーマ・手法を含んでいます。授業では、どのようなことが語られているのか、作者の意図はどこにあるのか、作者が取り入れた技法の新しさとはなにか、などを討論していきながら作品の理解を深めていきたいと思ひます。一度に3~5ページ程度読み進めたいと思ひます。指名して、訳をつけてもらひ、自分にとって面白いところはどこか、なぜ面白いと思ひたのか、を説明してもらひます。

原文をきちんと読む力を養成していきたく思ひています。じっくり時間をかけて予習をし、文学作品を原文で読む面白さを味わってください。

【授業計画】

第1回 イントロダクション 第2回~第27回 作品購読

第28回~30回 プレゼンテーション

【テキスト】

テキストは初回時にお渡しします。

【受講生へのメッセージ(授業評価を踏まえた方針など)】

とにかく、辞書を引くこと。辞書を引いて単語の意味を正確に把握し、原文を読むことをこころがけてください。

【評価方法】

授業への積極的な参加 20% レポート 80%

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
21010		英語学基礎演習 I	2	横山 利夫	後期	

【達成目標】

テキストにある多くの例文を通して正しい英語の語法を学ぶこと。

【授業内容・方法】

It's often raining here. I'll phone you when I will arrive. I came here for study English. The life is difficult. I'd like to go and visit you next summer. When you come, take your picnic lunch. I went swimming to the river. I'll see you a few days later.

これらの英文には誤りがあります。みなさんはそれぞれの誤りを指摘できますか。英語学習において、たとえば、仮定法がよく理解できない、完了形の使い方がわからない、分詞構文が苦手という方が多いのではないのでしょうか。現代英語の語法で、自分が苦手とする項目、または、関心のある項目をテキストから選んで、例文などをプリントして、授業で説明してもらひます。

【授業計画】

1 授業についてのガイダンス及び「英文誤り発見クイズ」

2~15 現代英語の語法で、自分が苦手とする項目、または、関心ある項目をテキストから選んで、例文などに訳を付けたプリントを準備し、授業で説明してもらひます。

【テキスト】

Michael Swan 著 Practical English Usage, New Edition, オックスフォード大学出版局 2005年

このテキストは2年次の演習でも使用する。

【受講生へのメッセージ(授業評価を踏まえた方針など)】

英語を外国語として学ぶ私たちは単純な誤りでも気づかないことがよくあります。テキストにある多くの例文を通して正しい英語の語法を学びましょう。

【評価方法】

出席を特に重視 40点(出席2/3以上で、1回欠席5点減点、受講受理期間も出席を取る)、プリントを準備して説明 40点、授業での積極的な発言 20点

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
21020		英語学基礎演習Ⅱ	2	松井 真人	後期	
<p>【達成目標】 この授業の達成目標は、人間の言語（特に英語と日本語）の生態を社会言語学の視点から考察し、言語と社会の関わりについて理解することである。</p> <p>【授業内容・方法】 授業は演習形式で行う。毎回、当番の学生がテキストの内容の要約を発表し、担当教員が解説や補足説明を加える。最後に内容について全員で議論する。</p> <p>【授業計画】 ①②社会言語学とはなにか ③④バイリンガリズム ⑤言語の誕生と死 ⑥⑦⑧⑨社会方言(言語と社会階級・人種・ジェンダー・年齢) ⑩⑪ポライトネス ⑫⑬言語と性差別 ⑭⑮異文化間コミュニケーション</p> <p>【テキスト】 東照二(著)『社会言語学入門(改訂版)』研究社 2,300円(税別)</p> <p>【受講生へのメッセージ(授業評価を踏まえた方針など)】 英語や日本語の具体例を数多く挙げながら、言語と社会の関わりについて深く考えていきたい。できるだけ発言しやすい雰囲気を作りたいと思う。受講生の皆さんは授業の前にテキストをよく読み、わからない点は遠慮なく質問してほしい。</p> <p>【評価方法】 授業への参加度(3分の2以上の出席が単位取得のためのノルマ)30%、テキストの要約発表の充実度30%、学期末レポート40%</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
21030		英語学基礎演習Ⅲ	2	北山 長貴	後期	
<p>【達成目標】 1. 英語の音声、語彙、統語(文の分析)についての基礎的内容を理解する。 2. 英文の内容を的確に読み、その内容を把握する力をつける。</p> <p>【授業内容・方法】 英語という「ことば」について書かれたテキストを精読します。英語という言語を客観的に分析するのが英語学です。具体的には英語音声学(発音)と英語の形態論(単語)そして統語論(文)についての基本的な事項を勉強します。毎回、1人1行ごとの輪読をして、英語を正確に理解する訓練をします。</p> <p>【授業計画】 ① はじめに ②③ Why Language? ④⑤ How Did Speech Begin? ⑥⑦ Could We Get Along Without Speech? ⑧⑨ What is Language Made Up Of? ⑩⑪ How Language Grows ⑫⑬ Languages Come in Families ⑭⑮ The Language of Europe</p> <p>【テキスト】 “All About Language” by Mario Pei. (成美堂) 1,200円</p> <p>【受講生へのメッセージ(授業評価を踏まえた方針など)】 テキストの予習が前提の授業です。必ず教室に辞書を持ってきてください(電子辞書も可)。</p> <p>【評価方法】 授業への参加度(50%)、期末レポート課題(50%)</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
21040		英語学基礎演習Ⅳ	2	阿部 隆夫	後期	

【達成目標】

異文化間コミュニケーション論と社会言語学を駆使して英語圏の社会言語文化の理解を深める。和訳・英訳を超えて英語圏で友人ができるような真のコミュニケーターを養成する。

【授業内容・方法】

異文化間コミュニケーション論・社会言語学の洋書主教材で学ぶ時間、和書副教材で学ぶ時間、社会言語学ワークブックの時間、TOEIC（文法・読解）と TOEFL の練習時間を設ける。

【授業計画】

毎回の時間を上記内容で三等分し、均等にあてる。受講生と協議のもとで教材を選定した後、30 回分の詳細な予定表を作成、配布する。例えば

回	教科書（25分）	副読本(25分)	英語圏社会言語学問題（20分）	TOEIC・TOEFL（30分）	個別研究発表、ほか
後期 1	(PFC 導入)		『納得の異文化間英語コミ』導入		
2	『PFC』1章問題	『喋るア』導入	事例2		
3	1章討論	1章前半問題		Part 1	

【テキスト】

タカオ・アベ『ピンときた！納得の異文化間英語コミュニケーション』（開拓社 2012 年）、『TOEIC テスト新公式問題集 vol. 6』（国際ビジネスコミュニケーション協会 2014 年）、ハルヤマダ『喋るアメリカ人聴く日本人』（成甲書房 2003 年）、Nancy Sakamoto, *Polite Fictions in Collision* (Kinseido 2004)

【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】

留学希望者は実務的な個別準備指導をする。期末課題としては、各自が言語学や英語などに関連した研究書の書評[3-5 ページ]又は口頭発表のどちらかが課せられる。英語論文の添削指導も可能。

【評価方法】

普段の小発表（50%）とレポート（または口頭発表）（50%）で判定する。

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
21110		英語学演習 I	4	横山 利夫	通年	

【達成目標】

英語の文法や語法において、これまでの学習の中で十分に理解できなかった項目を、各学生がテキストの説明や例文を熟読し、よく理解すること。

【授業内容・方法】

英語学習において、たとえば、仮定法がよく理解できない、分詞構文が苦手という方が多いのではないのでしょうか。自分の苦手とする項目、または興味ある項目をテキストから自分で選び、例文をプリントして、授業の中で説明してもらいます。以下の文にはそれぞれ誤りがあります。どこが誤りかわかりますか。下記のテキストではそれぞれの誤りについて、わかりやすく説明がなされています。

1 This is the first time I' m here. 2 I have told you all what I know. 3 Can you mend this until Tuesday?
4 Most of people agree with me.

【授業計画】

初回：授業についてのガイダンス、および「英文誤り発見クイズ」

2～15 回：自分の苦手とする項目、または興味ある項目をテキストから自分で選び、自分の作成したプリントを用いて説明する。

【テキスト】

Michael Swan 著 Practical English Usage, New Edition, オックスフォード大学出版局 2005 年

【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】

上記のテキストは英語の個々の語法についての疑問を解決するのに役立つ本です。英文科の学生には是非持って欲しい本です。予習をして、質問を準備して授業に参加すること。

【評価方法】

出席を特に重視 40 点（出席 2/3 以上、1 回欠席 4 点減点、受講受理期間も出席を取る）、プリント提出 40 点、授業での発表、授業での質問など 20 点

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
21120		英語学演習Ⅱ	4	松井 真人	通年	

【達成目標】

この演習の達成目標は、異文化間コミュニケーション、文法、意味のしくみについて学び、ことばを意識する習慣を身につけることによって、英語と日本語の能力を高めることである。

【授業内容・方法】

語用論、社会言語学、認知言語学の視点から、異文化間コミュニケーション、英語と日本語の意味および文法の諸相を考察していく。授業は演習形式で行う。毎回、当番の学生がテキストの内容の要約を発表し、担当教員が解説や補足説明を加える。最後に内容について全員で議論する。

【授業計画】

- 前期 ①オリエンテーション ②③④意図が伝わるしくみ ⑤⑥⑦⑧気づかいが伝わるしくみ
⑨⑩⑪関わりが生まれるしくみ ⑫⑬⑭⑮伝わらないしくみ
後期 ①空はなぜ青いのか? ②「ものの見方」と意味 ③プロトタイプ ④抽象化とスキーマ
⑤イメージ・スキーマ ⑥意味のネットワーク ⑦メタファー ⑧メトニミー
⑨概念メタファー ⑩方向性のメタファー ⑪「色」とことば ⑫構文と意味
⑬ことばのダイナミズム ⑭ことば、文化、普遍性 ⑮まとめ

【テキスト】

井上逸兵（著）『伝わるしくみと異文化間コミュニケーション』南雲堂 2,800円（税別）
谷口一美（著）『学びのエクササイズ 認知言語学』ひつじ書房 1,400円（税別）

【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】

できるだけ発言しやすい雰囲気を作りたいと思う。受講生の皆さんは授業の前にテキストをよく読み、わからない点は遠慮なく質問してほしい。

【評価方法】

授業への参加度（3分の2以上の出席が単位取得のためのノルマ）30%、テキストの要約発表の充実度30%、学年末レポート40%

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
21130		英語学演習Ⅲ	4	北山 長貴	通年	

【達成目標】

1. 英語音声学、形態論、統語論について知識を深めること。
2. 複雑な英文の構造を把握しその内容を理解する力をつけること。

【授業内容・方法】

英語学基礎演習Ⅲの続きとなります。継続受講者でなくても理解できる内容です。英語という言語を客観的に分析するのが英語学です。具体的には英語音声学と形態論そして統語論についての理解を深めます。毎回、1人1行ごとの輪読をして、英語を正確に理解する訓練をします。

【授業計画】

- | | |
|---------------------------------------|---------------------------------|
| ① はじめに | ⑧⑨ What is Language Made Up Of? |
| ②③ Why Language? | ⑩⑪ How Language Grows |
| ④⑤ How Did Speech Begin? | ⑫⑬ Languages Come in Families |
| ⑥⑦ Could We Get Along Without Speech? | ⑭⑮ The Language of Europe |

【テキスト】

“All About Language” by Mario Pei. (成美堂) 1,200円

【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】

テキストをよく読み、何がポイントかを把握して簡潔に説明する練習です。

【評価方法】

授業への参加度（30%）、レポート課題（70%）

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
21140		英語学演習Ⅳ	4	阿部 隆夫	通年	

【達成目標】

異文化間コミュニケーション論と社会言語学を駆使して英語圏の社会言語文化の理解を深める。和訳・英訳を超えて英語圏で友人ができるような真のコミュニケーターを養成する。

【授業内容・方法】

異文化間コミュニケーション論・社会言語学の洋書主教材で学ぶ時間、和書副教材で学ぶ時間、社会言語学ワークブックの時間、TOEIC（文法・読解）と TOEFL の練習時間を設ける。

【授業計画】

毎回の時間を上記内容で三等分し、均等にあてる。受講生と協議のもとで教材を選定した後、30 回分の詳細な予定表を作成、配布する。例えば

回	教科書 (25 分)	副読本(25 分)	英語圏社会言語学問題 (20 分)	TOEIC・TOEFL (30 分)	個別研究発表、ほか
前期 1	PFC 導入 6 章音読	『しゃべるアメリカ人』導入		Part 5	
2	『PFC』7 章討論		No. 13		Mistakes p. 15 まで

【テキスト】

タカオ・アベ『ピンときた！納得の異文化間英語コミュニケーション』（開拓社 2012 年）、『TOEIC テスト究極の模試600 問』（アルク 2012 年）、Haru Yamada, *Different Games, Different Rules* (Oxford UP, 1997)

【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】

留学希望者は実務的な個別準備指導をする、また希望者には各自が希望した上記関連専門分野で小論文・研究などの個別指導をする。期末課題としては、各自が言語学や英語などに関連した研究題目を選んでレポート[3-5 ページ]又は口頭発表のどちらかが課せられる。英語論文の添削指導も可能。

【評価方法】

普段の小発表（50%）とレポート（または口頭発表 50%）で判定する。

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
21210		英語学入門Ⅰ	2	松井 真人	前期	教養

【達成目標】

この授業の達成目標は、現代言語学の枠組みで、英語および言語一般の特徴（特に意味とコミュニケーションの側面）を理解することである。

【授業内容・方法】

講義形式で英語および人間の言語一般の特徴について解説する。言語学の分野としては、主に意味論、認知言語学、語用論を扱う。

【授業計画】

- ①オリエンテーション ②③人間の言語と動物の「言語」の違い ④言語研究の分野と方法
⑤⑥ことばの意味とは何だろう ⑦サピア・ウォーフの仮説 ⑧⑨語の間の意味関係 ⑩⑪意味の拡張
⑫ことばの意味に見られる主観性 ⑬ことばの意味とコンテキスト
⑭⑮ことばのやりとりにおけるルール

【テキスト】

長谷川瑞穂（編著）『はじめての英語学<改訂版>』研究社 2,500 円（税別）

その他に資料を配布する。

【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】

受講生が英語学や言語学に関心が持てるように、多くの具体例を用いて分かりやすい解説を心がけた。分からない点は遠慮なく質問してほしい。後期開講の英語学入門ⅡとⅢを受講することによって英語学全般を学ぶことができるので、それらの授業も受講することをお勧めする。

【評価方法】

授業への参加度（3 分の 2 以上の出席が単位取得のノルマ）（約 25%）、学期末試験（約 75%）

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
21220		英語学入門Ⅱ	2	横山 利夫	後期	教養

【達成目標】

- ①□下記のテキスト①について：1500年前までヨーロッパ辺境の一地方語にすぎなかった英語が世界各地に波及し、今日では地球人口の5割以上が何らかの形で英語に関わりを持っているといわれている。その英語がどのような発達過程を経て現在の姿になったのかを理解する。
- ② 下記のテキスト②について：言葉の起源、英語の発音とスペリング、語彙の多様性、文の内部構造などを扱った章について理解を深める。

【授業内容・方法】

テキスト①については、プリントも使用しながら、内容理解に重点を置いた指導をする。なお、講義ではビデオ教材も利用する。テキスト②については特に文の内部構造について詳しく説明する。

【授業計画】

テキスト①については、受講生が順番にテキストの内容を要約し、担当者が解説する。

- 1.Introduction 2.Indo-European 3.Britain Before the Coming of the Anglo-Saxon
4.Old English 5.The Scandinavian Invasions 6.The Norman Conquest 7.Middle English
8.Early Modern English 9.Modern English 以上、12回

テキスト②については担当者が説明する。3回

【テキスト】

- ①Gary Buck 著 The History of the English Language in Simplified English (英潮社 1996年)
②長谷川瑞穂 編著 『はじめての英語学』(研究社 2006年)

【受講生へのメッセージ(授業評価を踏まえた方針など)】

毎回、テキスト(やさしい英語で書かれている)をよく読んでから授業に臨んでください。イギリス史について少し理解しているほうがよい。質問の時間を設けるのでわからないところ質問してください。

【評価方法】

試験 2回(70点)、出席 30点(2/3以上の出席、1回欠席5点減点、受講受理期間も出欠を取る。)

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
21230		英語学入門Ⅲ	2	北山 長貴	後期	教養

【達成目標】

1. 英語音声学について理解を深めること。
2. 英語の形態論、社会言語学、言語習得理論について基本的な概念を理解すること。

【授業内容・方法】

英語音声学、形態論、社会言語学、言語習得を概論します。英語音声学については基本的な母音・子音の体系を踏まえ音の変化を中心に概論します。必要に応じて日本語の例についても紹介します。学習内容を深めるためプリントを使い応用練習もします。形態論、社会言語学、言語習得理論については授業前に授業計画に記載してあるテキストの該当する章を必ず読んでおくこと。

【授業計画】

- | | |
|------------------------|----------------------------|
| ① はじめに | ② 英語の音声：母音 |
| ③ 英語の音声：子音 | ④ 音節、強勢、イントネーション |
| ⑤ 音素とは | ⑥ 音の変化：同化 |
| ⑦ 形態論「単語ができる仕組み」(第10章) | ⑧ 接辞：接頭辞と接尾辞 |
| ⑨ 英語の語源 | ⑩ 語形成 |
| ⑪ 社会言語学：「ことばと社会」(第23章) | ⑫ 変種とは |
| ⑬ ビジンとクリオール | ⑭ 言語習得：「日本の英語教育と教授法」(第25章) |
| ⑮ 第一言語習得 | |

【テキスト】

長谷川瑞穂 編『はじめての英語学』(研究社) 2,625円 (英語学入門Ⅰ～Ⅲ 共通テキスト)

【受講生へのメッセージ(授業評価を踏まえた方針など)】

英語学を今後も研究する学生は英語学入門ⅠとⅡを受講することが望ましい。

【評価方法】

授業への参加度(50%)、期末筆記試験(50%)

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放															
21240		英語学講読	2	北山 長貴	前期																
<p>【達成目標】 1. 英語学を研究するために必要な基本分野の概要を理解すること。 2. 多くの英文を一度に読み、英文の内容把握が的確にできるようになること。</p> <p>【授業内容・方法】 英語学を今後も研究したい学生向けの授業です。 英語で書かれたテキストを精読して英語学の基本事項を学びます。1回の授業で1ユニットを輪読（一人一人順番に英語を読みその内容を説明してもらうことを）します。プリントを使い内容理解を深めるようにします。</p> <p>【授業計画】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. Introduction</td> <td>2. Semantic properties</td> <td>3. Ambiguity</td> </tr> <tr> <td>4. Metaphor and Poem</td> <td>5. Semantic Change</td> <td>6. Stylistics</td> </tr> <tr> <td>7. Speech and writing</td> <td>8. Speech acts and pragmatics</td> <td>9. Aspects of dialect</td> </tr> <tr> <td>10. Language and sexism</td> <td>11. New word formation</td> <td>12. Child language acquisition</td> </tr> <tr> <td>13. Animals' language capacity</td> <td>14. General review</td> <td>15. What is language?</td> </tr> </table> <p>【テキスト】 “Language as Human Essence” by Victoria A. Fromkin 三修社（1300円）</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 予習しての出席が前提の授業です。必ず教室に辞書を持ってきてください。（電子辞書も可、できれば紙の辞書）専門的な内容が含まれていますが、なるべく理解しやすい様に説明します。</p> <p>【評価方法】 授業への参加度（50%）、レポート提出（30%）。毎回出席を取ります。遅刻は3回で1回の欠席とします。</p>							1. Introduction	2. Semantic properties	3. Ambiguity	4. Metaphor and Poem	5. Semantic Change	6. Stylistics	7. Speech and writing	8. Speech acts and pragmatics	9. Aspects of dialect	10. Language and sexism	11. New word formation	12. Child language acquisition	13. Animals' language capacity	14. General review	15. What is language?
1. Introduction	2. Semantic properties	3. Ambiguity																			
4. Metaphor and Poem	5. Semantic Change	6. Stylistics																			
7. Speech and writing	8. Speech acts and pragmatics	9. Aspects of dialect																			
10. Language and sexism	11. New word formation	12. Child language acquisition																			
13. Animals' language capacity	14. General review	15. What is language?																			

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放																		
21320		英米文化論	2	小林 亜希	前期	教養																		
<p>【達成目標】 1. 英米文化を学ぶ上で重要な概念についての理解を深める。 2. 様々な文化表象を手がかりに、イギリスとアメリカの文化を読み解く方法を学ぶ。</p> <p>【授業内容・方法】 前半(1回目～8回目)は、英米文化を読み解くためのキーワード(基本概念)を中心に考察し、後半(9回目～15回目)は、映画、絵画、音楽、建築等の具体的な表象を分析しながら、英語圏の「文化」の構造を読み解いていきます。</p> <p>【授業計画】</p> <table border="0"> <tr> <td>①ガイダンス</td> <td>②英語</td> <td>③宗教</td> <td>④民主主義</td> <td>⑤国民国家</td> <td>⑥帝国主義</td> </tr> <tr> <td>⑦資本主義</td> <td>⑧新自由主義</td> <td>⑨人種/階級/ジェンダー</td> <td>⑩絵画</td> <td>⑪建築</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑫映画</td> <td>⑬音楽</td> <td>⑭ファッション</td> <td>⑮まとめ</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>【テキスト】 参考資料を適宜配布します。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 ・受講生の関心を引くように、身近な事例を取り入れながら講義を進めていきたいと思えます。 ・扱うキーワードを辞書やインターネットで調べてから授業に臨むと理解が深まります。</p> <p>【評価方法】 試験（100%）。授業回数の3分の2以上の出席が条件です。</p>							①ガイダンス	②英語	③宗教	④民主主義	⑤国民国家	⑥帝国主義	⑦資本主義	⑧新自由主義	⑨人種/階級/ジェンダー	⑩絵画	⑪建築		⑫映画	⑬音楽	⑭ファッション	⑮まとめ		
①ガイダンス	②英語	③宗教	④民主主義	⑤国民国家	⑥帝国主義																			
⑦資本主義	⑧新自由主義	⑨人種/階級/ジェンダー	⑩絵画	⑪建築																				
⑫映画	⑬音楽	⑭ファッション	⑮まとめ																					

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放																
21330		西洋史	2	浅野 啓子	前期																	
<p>【達成目標】 1. ヨーロッパの過去を学ぶことで、現代国際社会の諸問題を歴史的に理解できるようになる。 2. ヨーロッパの社会と文化が、排除と共存の過程を経て形作られてきたことを理解する。</p> <p>【授業内容・方法】 現代ヨーロッパの原型が形成された中世の時代（およそ5～15世紀）について、そのキリスト教的な社会、身分制と共同体に基づく社会の特徴を明らかにし、現代につながる問題についても考える。</p> <p>【授業計画】</p> <table border="0"> <tr> <td>①多民族による多様な地域文化のヨーロッパ</td> <td>②ケルト人の文化</td> </tr> <tr> <td>③アイルランド問題</td> <td>④キリスト教的中世世界の成立</td> </tr> <tr> <td>⑤レーン制と封建制</td> <td>⑥共同体と身分制</td> </tr> <tr> <td>⑦キリスト教文化</td> <td>⑧異端運動</td> </tr> <tr> <td>⑨ユダヤ人迫害</td> <td>⑩中世の女性観</td> </tr> <tr> <td>⑪女性の生き方</td> <td>⑫騎士文学</td> </tr> <tr> <td>⑬大学の成立</td> <td>⑭中世から近代へ</td> </tr> <tr> <td>⑮まとめ</td> <td></td> </tr> </table> <p>【テキスト】 プリント配付</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 授業内容を問うアンケートとビデオ鑑賞を取り入れて、異文化への理解が深まる授業を目指します。</p> <p>【評価方法】 授業への参加度（40%）、期末の理解度確認調査（60%）</p>							①多民族による多様な地域文化のヨーロッパ	②ケルト人の文化	③アイルランド問題	④キリスト教的中世世界の成立	⑤レーン制と封建制	⑥共同体と身分制	⑦キリスト教文化	⑧異端運動	⑨ユダヤ人迫害	⑩中世の女性観	⑪女性の生き方	⑫騎士文学	⑬大学の成立	⑭中世から近代へ	⑮まとめ	
①多民族による多様な地域文化のヨーロッパ	②ケルト人の文化																					
③アイルランド問題	④キリスト教的中世世界の成立																					
⑤レーン制と封建制	⑥共同体と身分制																					
⑦キリスト教文化	⑧異端運動																					
⑨ユダヤ人迫害	⑩中世の女性観																					
⑪女性の生き方	⑫騎士文学																					
⑬大学の成立	⑭中世から近代へ																					
⑮まとめ																						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
21340		日本文化論	2	佐藤 健治	後期	教養
<p>【達成目標】 1. 世界に誇れる日本の文化遺産について、事例をあげて説明することができる。 2. 日本文化の特徴について、日本の自然環境や歴史的な事実から、適切に説明することができる。</p> <p>【授業内容・方法】 日本で世界遺産に登録された文化遺産などを素材として、日本特有の文化とは何か、自然環境や人々の歴史など、さまざまな角度から考えていく。</p> <p>【授業計画】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① はじめに ②～④ 世界文化遺産とは ⑤～⑦ 神と仏の文化 ⑧～⑩ お城の文化 ⑪～⑬ 金銀島の文化 ⑭～⑮ 近代化の遺産 <p>【テキスト】 テキストは使用しない。参考文献等は、その都度紹介する。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 世界を知るためには、まず日本を知ろう。世界遺産のスライド写真などを見ながら、知っているようで知らないことも多い日本のことについて、考えていこう。</p> <p>【評価方法】 レポート（50%）、授業中に適宜課すミニッツペーパー（50%）で評価する。</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
21350		異文化理解Ⅰ	2	伊豆田 義人	前期	教養
<p>【達成目標】 This course aims to provide training in speaking, listening and communication skills with emphasis on the aspects of Japanese customs, traditions and culture. By the end of the term, the students are expected to be able to talk about the Japanese culture in general.</p> <p>【授業内容・方法】 To help student learning, multimedia and web resources will be utilized, at the discretion of the instructor. Instructional methods of this course include lectures, discussions in class and personal research. <u>Moreover, the lectures will be given in English.</u> 注意：この授業は英語で行われるが、英会話教室ではない。</p> <p>【授業計画】 A typical 90-minute class will look something like this: (1) five-minute-opening with, for example, English riddles, proverbs, tong twisters, songs, chants, and so on (2) listening comprehension training through the use of audiovisual and multimedia resources (3) discussion of cultural topics related to the short-length videos that will be shown in classes</p> <p>【テキスト】 Course handouts and directions to class web sites will be provided. It is suggested that the students bring their own dictionaries and like.</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 We sometimes hear people say things like "that's part of our Japanese Culture". But have you ever thought about what 'Japanese culture' means? If you did, good, come and share your ideas with us. If not, no worries, let's figure it out together. 注意：この授業は英会話ではなく、英語で「文化」について話し合うので、初日の英語での自己紹介をはじめ、英語でコミュニケーションを使用とする努力が求められる。“言われていること、そして、自分が言いたいことが伝わればOK”なので、英語力のレベルは問わない。疑問等があったら、事前に、ご相談ください（日本語対応）。</p> <p>【評価方法】 Attendance and participation (50%). Final project (50%).</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
21360		異文化理解Ⅱ	2	Mony Tavakoli	前期	教養
<p>【達成目標】 The purpose of this class is to learn about the different cultures of the world, and for students to think about the role that culture plays in their life.</p> <p>【授業内容・方法】</p> <p>【授業計画】 The class is divided into 4 sections that look at different aspects of culture: 1. Language 2. Food 3. Religion 4 Festivals and Celebrations. Students will write papers about that aspect of culture for different countries. Movies from different countries will be shown to help gain a broader cultural understanding.</p> <p>【テキスト】 There is no textbook for this class. Students will make use of the library and internet to do research for their papers.</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 Learning about different cultures is fascinating. I hopes students will enjoy this class.</p> <p>【評価方法】 50% class attendance and participation. 50% research papers</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
21370		異文化 コミュニケーション	2	阿部 隆夫	前期	教養
<p>【達成目標】 異文化間コミュニケーションができるようになる。国際化の中で必要な柔軟なコミュニケーション能力を身につける。</p> <p>【授業内容・方法】 異文化間コミュニケーションの基礎理論を解説し、古今東西の異文化間のコミュニケーション問題を考察する。異文化間コミュニケーションが得意になるように理論と実践の両面を扱う。</p> <p>【授業計画】 1-2. 異文化間コミュニケーション論の誕生と可能性の説明 3-11. 基本概念の説明と応用（文化とは、常識とは、時間とは、空間とは、学習の形態差とは、認識の形態差とは、コミュニケーションの形態とは） 12. ヨーロッパ人の航海活動に伴う異文化・異民族間問題 13. 北アメリカの毛皮交易をめぐるヨーロッパ系住民と先住民の交流 14. カナダでの対先住民政策の比較例として日本社会のアイヌ民族待遇を考える 15. カナダの非英語系・非フランス語系移民の受け入れと多文化主義政策に基づいて日本社会が直面する外国籍労働者・移住者受け入れと彼らとの共存の方法を考える また、並行して後半週 6 回では、副教材の 1 章から 11 章までを二章ごと扱う。</p> <p>【テキスト】 エドワード・T・ホール著「沈黙のことば」（南雲堂 1966 年）、タカオアベ『ピンときた! 納得の異文化間英語コミュニケーション』（開拓社 2011 年）</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 基礎理論を着実に理解させた後の期間後半になってから事例研究を行なう。各自で関心があるレポートの題目を平素から捜して用意することを期待する。</p> <p>【評価方法】 平常の発表課題（30%）と 5 ページ程度の研究レポート（70%）</p>						